

令和8年度 安全管理指導者研修会

解説資料

学校防災力向上支援事業について (文部科学省委託事業)

日時：令和8年4月28日（火）

主催：秋田県教育委員会

担当：保健体育課

防災教育・安全チーム

1 学校防災力向上支援事業の概要

2 事業内容

3 令和8年度取組

令和8年度 学校防災力向上支援事業(文部科学省委託事業)

秋田県教育委員会
総務課・保健体育課

現状・課題

- 近年、大規模災害が頻発化・激甚化しており、本県でも河川等の氾濫による浸水被害が相次いで発生
- 発災時における児童生徒の安全確保のため、**学校現場における防災力の向上が必須**である。
- 学校が安全な避難場所としての機能を維持し、災害発生後も子どもたちの学びを守り続けることが喫緊の課題**であるが、現状、災害時の対応については、各学校に任されている。

国等の状況

- 文部科学省では、今後の大規模災害に備え、被災地での速やかな学びの確保を図るため、「被災地外からの教職員等の派遣枠組み(D-EST)」を構築してその実質化を図ることとしており、令和7年7月に修正された国の防災基本計画にもその内容が盛り込まれた。
- 一部の自治体で、既に**学校支援チーム**を立ち上げ、体制の整備を図っている【兵庫・熊本・三重・宮城・岡山】
- 東北各県でも、令和8年度からの学校支援チームの立ち上げを準備中



【D-EST※とは】

・大規模災害発生時には、教職員も被災者となる中、多くの学校で避難所が開設され、学校再開に必要な人員が不足することから、**被災地での速やかな学びの確保**を図るため、被災地外からの教職員等を派遣する枠組み

【学校支援チームとは】

・学びの確保のための訓練を受け、被災した学校の支援のため派遣される教職員等のチーム

めざす姿

継続して学校防災リーダーを育成し、災害発生時に相互に支援する体制を構築する

- 学校防災リーダーの育成**：基礎的な防災知識を備え、被災時の学校の運営や学びの確保について研修をうけた**学校防災リーダーを育成し、学校現場における防災力の向上を図る**
- D-ESTの体制整備**：学校防災リーダーを育成することにより、県内外において大規模災害が発生した際に、**学校支援チームとして派遣できる体制を整える。**

※D-EST : Disaster Education Support Team

事業内容

- (1)学校防災リーダー育成研修の実施
 - ・災害時における対応等について研修を実施
- (2)先進地視察
 - ・他県の研修等を視察し本県の事業に活かす
- (3)研修受講者のリスト作成
 - ・研修受講者のリストを作成し管理する
- (4)被災した学校の教育復興の支援
 - ・被災した学校の人員やノウハウ不足を解消する支援体制を構築する

対象等

管理職以外の教職員等

- ・各教科担当教諭・養護教諭・栄養教諭
- ・県及び市町村教育委員会指導主事 等

目標

各研修受講者 30名

育成研修 (R8～：年3回)	自主的に参加を希望する職員
フォローアップ研修 (R9～：年1回)	R8年度に育成研修を受講した教職員等
スキルアップ研修 (R10～：年1回)	育成研修とフォローアップ研修を受講した経験のある教職員等

継続して学校防災リーダーを育成し、あわせて災害発生時に相互に支援する体制を構築する

年次計画

- R8**
学校防災リーダーの育成
→各学校の防災体制の強化
- 育成研修の実施
 - 研修受講者リストの作成

- R9**
地域の学校の相互支援による
地域全体の防災体制の強化
- 育成研修、フォローアップ研修の実施
 - D-ESTの体制整備、地域との連携強化

- R10～**
広域的な相互支援による
防災体制の強化
- 育成研修等の継続的な実施
 - 災害発生時のノウハウを蓄積

学校防災力
の向上

○現状と課題

- 大規模災害の頻発化・激甚化
→本県でも河川等の氾濫による浸水被害が相次いで発生
- 発災時における児童生徒等の安全確保
→学校現場における防災力の向上が必須



学校が安全な避難場所としての機能を維持し、災害発生後も子どもたちの学びを守り続けることが喫緊の課題であるが、現状、災害時の対応については、各学校に任されている。

○国等の状況

□文部科学省

- 「被災地学び支援派遣等枠組み(D-EST)」を構築
→今後の大規模災害に備え、被災地での速やかな学びの確保を図るため。
国の防災基本計画（R7年7月）にもその内容が盛り込まれた。

- 既に学校支援チームの体制整備が図られている県
→兵庫・熊本・三重・宮城・岡山

- 東北各県でも、令和8年度からの準備中

○目指す姿

＜現状と課題＞及び＜国等の状況＞



□継続して学校防災リーダーを育成し、災害発生時に相互に支援する体制を構築する

1 学校防災リーダーの育成

基礎的な防災知識を備え、被災時の学校の運営や学びの確保について研修を受けた学校防災リーダーを育成し、**学校現場における防災力の向上を図る**

2 D-ESTの体制整備

学校防災リーダーを育成することにより、**県内外において大規模災害が発生した際に、学校支援チームとして派遣できる体制を整える**

○事業内容

Ⅰ 学校防災リーダー育成研修の実施

- 学校防災リーダー育成研修Ⅰ（9月～10月）
 - 本研修の解説、講義及び文部科学省の作成動画をオンデマンドで視聴し、レポートを作成する
- 学校防災リーダー育成研修Ⅱ（11月17日）
 - 学校安全指導者研修会（災害安全）に参加し、災害安全に関する基礎を学ぶ
- 学校防災リーダー育成研修Ⅲ（1月8日）
 - 学校支援チームの在り方や心構え、被災地での具体的な活動等について学ぶ

○事業内容

2 先進地視察

既にD-ESTを立ち上げ、被災地に学校支援チームを派遣している先進県の取組等を学び、本県の事業に活用する

3 研修受講者のリスト作成

学校防災リーダー育成研修Ⅰ～Ⅲの受講者を学校防災リーダーとして登録し、リストを作成して管理する

○事業内容

4 被災した学校の教育復興の支援

県内外を問わず、被災地の学校に対する支援体制を構築する

○学校における避難所運営支援

○学校教育の早期再開に向けた支援

○教職員や子供たちへの心のケアの支援

○被災地の学校や教育委員会等との連携調整

○対象・募集人数

<対象>

- ・管理職以外の教職員等
→各教科担当教諭、養護教諭、栄養教諭、事務職員、現業職員
- ・指導主事等
→指導主事等（県教委、市町村教委）

<募集人数>

- ・30名程度

○実施スケジュール

< 5 月 >

- ・ 学校防災リーダー育成研修 I ~ III 要項等発出
- ・ 防災意識調査の実施

< 6 月 >

- ・ 学校防災リーダー育成研修受講者決定

< 8 月 ~ 9 月 >

- ・ 学校防災リーダー育成研修 I (オンデマンド)

○実施スケジュール

< 11月 >

- ・ 学校防災リーダー育成研修Ⅱ
- ・ 中間報告会（文部科学省）

< 令和9年1月 >

- ・ 学校防災リーダー育成研修Ⅲ

< 令和9年2月 >

- ・ 最終報告会（文部科学省）

○実施スケジュール

<令和9年3月>

- ・成果と課題のまとめ

<令和9年度>

- ・新たな受講者（30名程度）の育成研修の実施
- ・フォローアップ研修の実施
（対象：令和8年度の育成研修受講者）

令和8年度 安全管理指導者研修会

ご清聴ありがとうございました

日時：令和8年4月28日（火）

主催：秋田県教育委員会

担当：保健体育課

防災教育・安全チーム